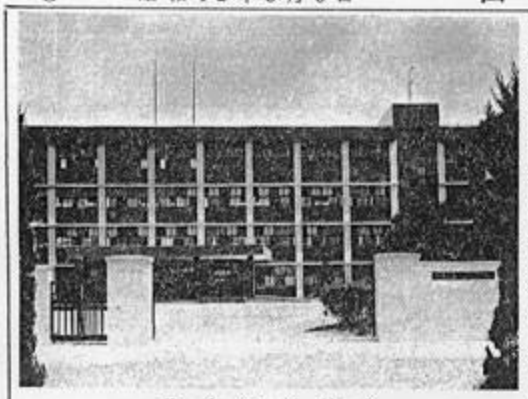
山高同窓会報

発行所
福岡県立山門高等学校
同窓会

印刷所
重富印刷株式会社

同窓会
―躍進・山門の推進力である―
同窓会会長 野口勝代



舎校新の容偉

野口会長

今年の暑さは格別でございますが、会員の皆様には、お健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

本会では、同窓会報第二号を昨年末発行の予定で、作業を進めましたが、調査に予想以上の日時を要し、本年二月よろこべ予約の方々にお届けいたしました。延引いたしましたことをお詫び申し上げますとともに、調査用子の会員の現況をご存知の方は、本部あてご一報賜りますようお願い申し上げます。

また会報作成の調査のとき、ごく小さな新聞ではございましたが会員の方々に会報をお届けいたしました。卒業後始めて母校の便りを送ってもらったと喜んでいただいた方も多かったようで、会員として私ども嬉しく存じております。

同窓会報は、母校と会員相互を結ぶ線の一つとして毎年発行しておりますが、例年は総会に出席の会員にお配りするだけでございました。したがって会報を手にされなかった方が多かったと思います。本年からは、更に全会員の方に二年ないし三年間に一回は会報をお届けするようにいたしたいと考えております。経費の都合で毎年全会員の方にお届けできないのが残念でございます。

次に、総会の期日は、八月の第一日曜日でありますが、この日は種々の理由で適切な日とは云えなくなりました。検討しました結果、七月の最後の日曜日を案として持っております。七月十五日に開催しました評議員会に提案して、総会期日の変更については同意を得ましたので、今度の総会で可決されますと来年度からは、七月最後の日曜日に総会を持つことになります。遠方の方も、この頃に帰省の方は、総会にご出席下さいますようお願い申し上げます。

母校は改築が進捗して、今や見違えるようになりました。母校の発展をお祈りいたしますとともに会員の皆様がますます幸福でご発展遊ばされますよう、心からお祈りいたします。

母校は同じ屋根の下に共に楽しみ共にかたり互に励まし合った心のふるさと。総会は思い出の時を過す年一回の古き交りの集い。会報は会員としての心の絆。皆さんが転任になられた、勤続二十年に亘り、その間結婚になり現在三男一女のよきママさんでもある。苦烈なる大東亜戦争の真只中に高女時代を生き抜き、母校に引続き就任し、妻校会から新築成った新校舎に移り弥々発展途上にある「名門山門」と自慢共に許す母校を去らることは感一しおなるものがあるであろう。朗らかな笑い声の聞かれようになったのは一抹の淋しさを感ずる事大。

互いに励まし合い、学んだ事、三、何事にも負けない若さの力と努力以上が栄冠を勝いた大きな源泉であったろうと思います。

今後、壱岐校設定は「友人が行くから」「ただ良い大学だから」と云った安易な気持でなく、生徒の能力、特質、興味及び職業的適性等十分生徒、父兄との話し合いの場を今一層持ち本当に将来の為になる大学受験指導をして行きたいと思っています。

尚、旧進学係一同は本年度卒業生諸君が実社会で大いに活躍されん事を期待してやみません。

（進学部主任高垣大教諭記）

大学合格者数

京大、九大等国公立一二名
私立大一五七名

看護関係一七名

【国立一期】京都大一名、九州大十六名、熊本大八名、宮崎大十五名、広島大一名、北海道大一名

【国立二期】福岡教育大二十三名、佐賀大五名、鹿児島大二名、大分大二名

【準大学】防衛大二十二名

【国立短期】長崎大総合科学大二名、長崎短大一名、福岡女子大三名、北九州大一名、九州保健大三名

【公立短期】福岡女子大三名、熊本女子大二名、北九州大一名、九州保健大三名

【公立短期】長崎短大一名、福岡大附中三名、西南学院大十五名、九州産業大四名

【私立短期】福岡大附中三名、西南学院大十五名、九州産業大四名

確固たる基盤の上に立つ
就職・進学

佐賀栄光大十二名、佐世保女短大一名、福岡工業大一名、福岡女短大一名、久留米大二名、鹿児島女短大一名、熊本女短大一名、大分短大一名、九州女短大一名、福岡県警察官一名、警察庁一名、鐘紡紡績大二名、九州電気通信局八名、福岡銀行一名、西日本鉄道一名、平井外科一名、第一スタークラス製薬所一名、大牟田運送KK一名、田中商運KK二名、神宮医院一名、海上警備隊一名、松山税関事務所一名、佐賀タイプ学校一名、城崎工業KK一名、KK鶴田組一名、大江小学校教諭一名、富士封石油KK一名、以上

繊維関係二名
日赤看護婦一名
国立第一病院一名
福岡中央電機一名
国立第二病院一名、長崎大学附属病院一名、佐賀タイプ学校一名、熊川洋裁学校二名、本田洋裁学校一名

行一名、新興信用組合一名、柳川信用金庫二名、朝日生命一名、玉屋デパート二名、松屋デパート二名、共栄商事一名、丸栄一名、KKシロセ一名、KKほていや二名、西原ビニコック二名、日本食塩（東京、大阪）六名、九州電力KK四名、西鉄一名、阪急バス五名、大分バス二名、別川バス一名、日本ゴムKK四名、トヨタ自動車KK二名、小林記録紙一名、藤木農機商会二名、九州精米化学KK一名、三井化学一名、門司鉄管局一名、サカミ工業所五名、朝倉開発一名、横倉開発一名、板橋中央病院一名、東京月島KK一名、山川機協五名、東山商事二名、朝鮮機協七名、高田機製二名、朝鮮電解電話局（交換手）二名、朝鮮食品工業KK二名、三池製作所六名、田中精麦KK二名、竹下産業二名、竹下鉄工一名、牛島工業KK一名、石井商店KK一名、BSKK二名、グンゼKK一名、郵政外務員一名、三池食品工業KK一名、三菱電機KK一名、久留米運送KK一名、スーパー南米屋一名、山本工作所一名、東洋製罐KK二名、樋口商店一名、野田醤油KK一名、国鉄弘済会一名、鶴崎海KK一名、大坪醤油KK一名、星崎電機KK二名、江崎酒造KK一名、鐘紡紡績KK一名、東芝電機KK一名、久留米ヤクルトKK一名、樋口軒一名、

新校舎の下 伸び行く山門!!

学校長 山口静夫

山口校長

階建タイル張りで完成し、県下の高校舎の中で、仲々見ることのできない偉容を示しております。また、昨年度には、正門も改造され、新校舎にふさわしい新正門が完成しました。

普通教室二十八、一年から三年まで明るい近代的教室で学んでおります。また、物理と化学は共に講義室・実験室・準備標本室が完備して教育効果をたかめております。卒業生の方々にも学校の内部を参観していただきたいと念願いたしている次第でございます。

更に校舎の一層の協力の下に、運動場の拡張を計画し、現在の運動場の北側の水田八五アール（八・五反）ほど買収の交渉がまとまりました。生徒の体育向上に大いに役立つものと考えております。

人事では、この竜、荒木、北田川竜、加藤の四先生が転出され、後任として、河野、秋原、板橋、小園先生が二年担任になりました。小園先生を除く三人の先生は、全て本校の卒業生で、本校の歴史が厚味を増してきたことを如実に示すものと心強さを感じております。

同窓会では、母校と卒業生の心の結びつきを強化するため、本年から新しい企画をお持ちいただいております。これを機会に母校と共に同窓会が一層の発展を遂げますようお祈りいたします。

充実する 進学

四十一年度より、本格的な学入試科目の指定が始まり、例えば九大は地学、佐大（経）は物理指定等、受験校決定には多難の時があった。そのような思わぬ状況の中で、各先生方の熱心な御指導を基盤として、生徒自身の一、正しい学習法を身につけ二、友人とのグループ学習をおすすめする。

表彰

安達弘記先生

昭和三十二年九月、県立矢部高等学校より御転任、本校赴任十年になる。先生は示現会に属せられ、連年良作を御発表になり、画壇で積極的に活躍せられている一人であり、家庭では綺麗な夫人と一男一女のよきパパさんである。今後のご活躍を期待したい。

（筆本記）

川竜先生

昭和三十二年三月山門高女を御卒業後、直ちに母校事務職員として御就任、本年四月県立八女高校事務所長として御転任になられたが、勤続二十年に亘り、その間結婚になり現在三男一女のよきママさんでもある。苦烈なる大東亜戦争の真只中に高女時代を生き抜き、母校に引続き就任し、妻校会から新築成った新校舎に移り弥々発展途上にある「名門山門」と自慢共に許す母校を去らることは感一しおなるものがあるであろう。朗らかな笑い声の聞かれようになったのは一抹の淋しさを感ずる事大。

互いに励まし合い、学んだ事、三、何事にも負けない若さの力と努力

完全就職を 目指して!!

職業指導主事 吉富幸男

就職指望者の会員就職希望カードに、我々は生徒の職業適性をとともに父兄との十分な話合をとりつつ四月より職場開拓に着手。卒業生への情報を提供して自己の適性、家庭の事情等総合判断させつつ積極的に就職に取り組みました。県外における就職の仲々よく、真面目な努力が会社に認められて居り、また先輩後輩の連絡もよくとれていて逐次増加して居ります。然し家庭の都合は地元企業指望者が多く、この点、地元企業の求人数の増加が切望されます。特に女子はその傾向が強く、職場の魅力ある育成が必要と考えます。

現住所変更の場合は本部へ御知せ下さい

福岡支部だより
—支部の強化を願う—

福岡支部長　荒巻輝夫

山門高等学校同窓の皆様には各方面において、はなばなしく活躍のことと お慶び申し上げます。

このたび、母校同窓会本部の好意により、山門高等学校同窓会福岡支部（以下福岡支部と呼ぶ）の歴史を皆様にお知らせできる機会を得ましたことを光栄に存じます。以来の推移を中心に、現在福岡支部が直面している問題点などについて、それに対する対策を、支部長としての立場から私見を交えて述べてみたいと思います。

福岡支部は、福岡地区在住の本部同窓生有志の努力と、本部ならびに山門高等学校と密接な関係のある諸先生方の絶大なるご支援とご指導の下に昭和四十年一月三十一日に設立総会を挙行しました。それ以来三年有余の歳月を経た現在では会員の数も、高等学校卒業者だけで四百名余に、それ以前の卒業者を加えると六百五十名近くに達しております。

福岡支部の設立総会で福岡支部の組織拡充強化と支部役員会の二項目だけでは支部状況に対応すべく、その中心地である福岡市に、その実体を把握するための歴史を設ける必要性が生じたことから計画されたのであり、その目的は、社会活動に入ると、とかすれば疎遠になりがちな会員各位の間の親睦を深めお互いの健康と発展を祝福し、かつ、お互いの現状または将来への指導を語り合い、相互扶助の精神に基づいてより充実した社会活動を図るためのより所となる場を設けるのと同時に、かつて青雲時代に学園を共にした母校をしのび、懐旧の念をも含めて、何らかの形で母校の発展を支援することにあると理解しております。

本支部は支部規約に基づいて組織されているのですが福岡支部規約の前文にも明記されているごとく、支部設置目的を達成するために、付支部総会の開催、四半期毎の支部役員会の開催、同窓会本部主催事業の後援、斡旋および他支部との相互連絡協力の会員事業を行うことになっています。しかしこれらの中で最も重要視されるべき支部総会